

神奈川県議会議員選挙選挙公報

神奈川県選挙管理委員会

政党政治からの脱却！

～しがらみの無いまっとうな愛のある政治を実現～

安心な暮らし

- **玄関から行きたいところの前までのデマンドバス(乗り合いバス)の実現。**公共交通が不便、坂道にもうんざり、免許返納したいなど、だれでも利用できる足として
- **まだ食べられる企業の廃棄食品を必要な家庭へ配布する取組をしています(食品ロス対策)**

子育て・教育

- **18歳までの医療費、教育費は全面無償化**すべき。支えあい育てていける仕組みは必須です
- **いじめ、不登校問題にも全力投球。**児童虐待やDV対策、**ヤングケアラー問題**にも取り組み。
- **保育園の増設。**希望者全員が家の近所の行きたい園に入園できるのを当たり前に。**保育士の待遇改善**も必須。

まちづくり

- **車いすやベビーカーでも安心安全な歩行者優先の生活道路網の整備**
- **いざというときの助け合いができるよう、自治町内会内の交流を密に**
- **小中学校等の防災拠点の周知。**水・食料ほか不十分な物資の改善・補充も推進します

プロフィール

昭和33年生 北九州市出身 福岡県立門司商業高等学校卒業
 【職歴】アルプス電気(株) 住友生命保険相互会社
 2010年宝石店・結婚相談所を起業
 【活動歴】貯筋体操の会と沖縄三線グループを主宰
 (社)緑青色申告会広報担当 桜を愛する会
 青葉ふれあいの会 卵の黄身 あおばパルーンアート隊
 【家族】二女一男 (長女は地元桐蔭学園卒)
 孫 5歳4歳2歳1歳0歳 娘たちも子育て真っ最中



無所属

山本つたえ

子育て・介護は社会のしごと

介護 在宅介護を支える

- **介護スタッフの処遇改善をすすめ**在宅生活を支えます。
- **移動支援の充実をはかります。**

子育て 子育てを孤立させない

- **一時保育や親子の集いの広場、派遣型の産前産後ケア、相談事業などで家族を丸ごと応援**します。

働く 多様な働き方をひろげる

- **若者や女性の再チャレンジを応援するしくみ、障害があっても働けるしくみ**を作ります。

安全 守りつなぐ平和・食・環境

- **基地機能の縮小をめざします。**
- **都市近郊農業を守ります。**環境に負荷をかけない安心・安全な食と農業への転換を進めます。
- **香料等に含まれる化学物質によっておこる化学物質過敏症「香害」の対策を進めます。**
- **電力会社の切り替えで再生可能エネルギーの選択を促す仕組み**をつくります。

プロフィール

1973年生まれ/市立みたち台中学校・県立市ケ尾高校卒業
 /東洋大学短期大学英文科卒業/グラフィックデザイナー
 /横浜市議員(2015～2019年)/カジノの是非を決める横浜市民の会運営委員(2019～2022年)/生活クラブ生協市が尾デポー運営委員(2020～)
 若林智子:ピビ親子サポートネット理事長、元横浜市議員、元神奈川県議会議員 / 向田映子:女性・市民コミュニティバンク理事長、元横浜市議員、元神奈川県議会議員



青木マキ

地域政党 神奈川ネット

ラジオ番組お悩み相談出演 どんな子供にも夢を！無料の学習塾！

お金の問題

最低賃金 ・労働者の賃金のup!

福祉 医療 年金

- ・介護医療の費用負担の軽減
- ・医療福祉事業所への補助金
- ・福祉と医療の人材不足解消
- ・在宅医療・介護支援の促進強化
- ・新たな支援給付金提案
- ・ベーシックインカムの提案

プロフィール活動 YouTube 緊急動画!

昭和48年生まれ 身長182cm

- **大工の長男として手伝いをしながら進学**
- **家出同然で丁稚奉公にて修業と学費の為に働く**
- **働きながら夜間の学校に通い進学**
- **在宅医療と福祉事業現場に30年**
- **高齢者生きがい講演会開催!**
- **FMラジオお悩み相談出演!** 丁稚奉公からの苦勞人!

県民ファースト

生活と暮らし

教育 奨学金

- ・教育者の質向上と道徳教育
- ・いじめのない教育環境整備
- ・不登校児童支援

子育て

- ・子育てと仕事の両立できる環境
- ・児童手当額の引き上げ
- ・無料学習塾と無料子供食堂

若者

- ・表現の自由を守ろう!
- ・マンガ・ゲーム・アニメ

でっぼうこ 苦しみに負けない! 丁稚奉公から政界へ!



佐藤ゆたか

49歳

寄り添う改革の実現へ あなたの人生を 応援します

- ①子供たちを守る**
子ども達が平等に活躍できるよう教育制度の見直しを行い、子どもを脅かす社会問題に取り組みます。
- ②女性の人生を支える**
女性が家庭に縛られることなく社会で活躍できるよう、育児や介護などの負担減少に取り組みます。
- ③文化・経済の再活性化**
音楽・アート・スポーツ・飲食などの文化がまた再び活気づくよう、地域経済の活性化に取り組みます。
- ④老後の不安を取り除く**
老後資金問題、健康寿命促進、介護施設の充実に取り組み、老後の安心のために福祉の充実を目指します。
- ⑤動物の問題に取り組む**
地域の自然を守り、動物愛護を推進します。小さな命を大切に活動を進めていきます。

新人 黒田ナオコ プロフィール

1969年 兵庫県生まれ : 2020年女性未来塾女性候補者育成コース1～3期生に
横浜市青葉区育ち : 補選され勉強。
1992年 聖心女子大学卒業 : しかし自分の想いをより実
1992年 日商岩井(株) : 現できると感じた維新塾へ
1997年～現在 : 2022年 移籍。
パークリー音楽大学留学 : 「日本維新の会」にて神奈川
プロジャズシンガー : ボーカルスクール運営 : 県議会候補者となる。



黒田ナオコ

日本維新の会
53歳 公認

神奈川県議会議員選挙選挙公報

神奈川県選挙管理委員会



ブレない、こびない、投げ出さない
きしせんめい
旗幟鮮明の政治7つの宣言!!

宣言1 教育正常化に向けた改革断行

いじめ・不登校等の対策、私学助成の拡充を進めます。

宣言2 医療・福祉・介護の充実

がん対策(予防・早期発見・早期治療)を推進し、医療介護人材の育成・確保を進めます。

宣言3 経済のエンジンを回す

3つの特区を活用しながら、地域経済の活性化・中小企業支援・雇用対策を進めます。

宣言4 未来を担う子供たちのために

児童虐待を未然防止する為の総合的対策を進めます。

宣言5 安全・安心な街づくり

災害に強いまちづくり、警察官の増員、特殊詐欺対策、道路交通標識の整備を進めます。

宣言6 文化・スポーツ・芸術振興

一歩先行く街「青葉区」から新しいムーブメントを全国へ発信します。

宣言7 新型コロナワクチン後遺症問題

新型コロナ対策の見直し、相談窓口の設置を進めます。

これまでの取組みと実績

- 卒業式・入学式における国歌斉唱時の不起立教員を糾弾
- 全国初の受動喫煙防止条例の推進
- 介護人材確保策として、神奈川県独自の表彰制度を実現
- 議長就任中、コロナ対策のため、
県政史上最多の臨時会・追加議会を開催

〈小島けんいちのプロフィール〉

昭和38年	愛媛県生まれ	平成23年	防災警察常任委員会委員長
昭和57年	私立愛光学園卒業	平成30年	自民党神奈川県議団団長
昭和62年	一橋大学卒業	令和3年	第114代神奈川県議会議長
平成3年	(株)東海銀行 入行	令和4年	神奈川県監査委員
平成11年	アメリカン・エクスプレス・ インターナショナル、Inc. 入社	【その他】	自衛官募集相談員 保護司
平成15年	神奈川県議会議員 現在5期目		横浜あおほライオンズクラブ会長(2018年)

詳しくは、ホームページをご覧ください。
<http://kojima-kenichi.com/>

小島けんいち

検索



自民党公認

小島けんいち

123456789
(59歳)

信頼と実行力

経済回復・医療福祉の充実・生活向上!

内田みほこは、
県民に身近な課題解決を
最優先にしています!



自民党公認

内田みほこ

うちだ

◎コロナ禍を脱却し、県経済の回復を第一に

テレワークやサテライトオフィスなど、コロナ禍での経験を今後は仕事の効率化に活かし、次代に成長を見込む企業や新産業の創出を支援し、落ち込んだ県経済を活性化します

◎医療施設の充実と高齢福祉の推進

万一の時のためにも病床数確保、医師・看護師や介護士など、医療・福祉の人材育成強化、お一人暮らしの高齢者の方が地域で安心して暮らせるよう、地域の取組みを支援します

◎結婚・妊娠・出産・育児まで切れ目のない支援

少子化に歯止めがかからない今、子どもを持ちたい人が、安心して妊娠・出産・育児ができるよう、不妊治療の助成、妊娠出産相談・経済的負担の軽減、保育環境整備を進めます

◎健全な子どもの育成と家庭と仕事の両立支援

子どもたちが心身ともに健やかに成人できるよう、学校でのイジメの撲滅、家庭でのDV・虐待対応などの児童相談所の強化、子育てしながら働く世帯へ支援強化してまいります

◎地震・風水害など、大規模災害に強い県土づくり

トルコ地震でも大きな被害が出ましたが、建物、道路、橋梁の耐震化、緊急輸送道路の整備をはじめ、風水害対策工事、避難所のトイレ整備、携帯トイレ備蓄を支援します

◎摩耗した道路標示改善など、地域の要望に対応

交通事故防止につながる摩耗した道路標示の再塗装など、青葉区の皆さんの身近な要望に応え、実現できるように県警察や土木事務所に自ら交渉してまいります

◎文化・芸術・スポーツの振興と観光プロモーション

神奈川県民であることを誇りに思えるように、文化・芸術やスポーツ振興をはじめ、国際交流や観光地の活性化、プロモーション戦略を展開してまいります

1966年2月9日生まれ、東京音楽大学音楽学部声楽科卒業/1992年からフリーのTV番組ディレクター/1995年から(株)NHKエデュケーション/TV番組プロデューサーとして勤務/2005年衆議院議員秘書(国会事務所)2007年県議に初当選/2019年4期目当選/2021年自民党神奈川県議団副団長/2022年~国際文化観光・スポーツ常任委員会委員、予算委員会委員。特技:ピアノ・バイオリン・バレエ・歌/趣味:ガーデニング・手芸・お菓子づくり

未来にツケを残さない!!

私の問題意識と決意

「失われた30年」に代表される、これまでの政治の延長では、この国は本当に立ち上がれないほどに衰退してしまいます。残された時間はあまりありません。古い政治の体質を「しごみ」の国会・地方議員がスクラムを組むことにより、税金の使い道を抜本的に変え、増税まっしぐらとスローガンばかりで実効性の上げられない政治に終止符を打ちます。

これまでの主な実績

初当選以来、県の知事部局すべての会計と契約行為、また今後30年にわたる将来コスト等の「見える化」を推進し、さらに県に政令市との間の二重行政の存在を認めさせ、昨年5月にはこれに係る知事と3政令市長との初会合が持たれるまでに進展させました。

また、教員の働き方改革、いじめ・不登校対策、児童虐待・DV対策、まなびや基金の設置、保育士・介護職の処遇改善、健康寿命の延伸、医療費の適正化、起業・中小企業支援、非正規の格差対策、高齢者・障がい者の雇用促進、医療ケア児の保育充実、議員定数の削減、災害時の広域連携、スポーツ環境の整備、日米地位協定の見直し、特殊詐欺対策、信号機等の設備等に力を入れてきました。

公民共創により地域に住む 私たちが「まちをデザイン」する

こうした一方で青葉区の令和4年度「自主企画事業費」は1億548万円(人口一人当たり約330円)です。私は県で実現させた教育プラン(まなびや基金)を新しい市長となって子育て等に力を入れている横浜市に提案し、地域力と創造力によってこの青葉区を「平均寿命日本一」に加え教育や福祉等の「幸福度日本一」のまちにするため、行動しています。

増税をする前にやるべきことがあるだろう!!
企業・団体からの献金を一円もいただきません。

プロフィール

- ◆1969年9月生まれ(53歳)
- ◆明治大学経営学部経営学科卒業
- ◆日本財団経営企画グループ室長など40歳まで会社員
- ◆その後、衆議院議員 江田憲司の秘書を経て、41歳で初当選
- ◆県議会ではこれまでに県議会議長の後継者をはじめ、常任委員会の委員長等を拝命。現在、立憲民主党 神奈川県総支部連合会 幹事長として、今回の統一地方選挙では、県内に100名を擁立。
- ◆家族は妻と子供2人(青葉区で子育て24年)

Mail: takashi.akano@gmail.com
推薦人 衆議院議員 江田憲司

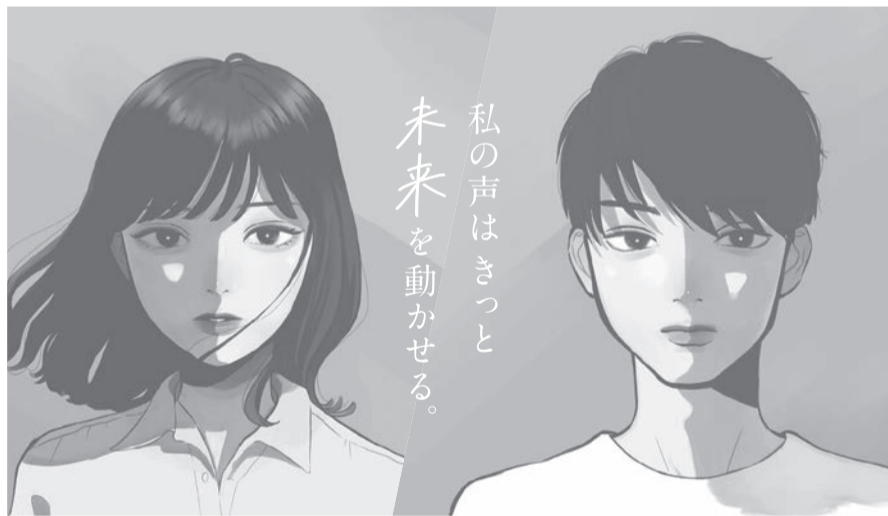


立憲民主党公認

赤野たかし

あかの

良い社会をつくるため税金の使い道をかえる



私の声はきつと
未来を動かせる。

自分の声を届けに行こう。

神奈川県 議会議員選挙

令和5年
投票日
4/9 (日)
午前7:00
午後8:00

投票日に投票所に行くことができない方は、期日前投票又は不在者投票をご利用ください。
18歳未満のお子様と一緒に投票所に入場することができます。ご家族で投票所にお出かけください。